

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第102号&gt;

**かながわ異グ連ニュース**

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F  
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194  
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com  
 http://www.kanagawa-iguren.com

東日本大震災発生から1カ月経ち、被災地の状況が判明してまいりました。3万人に垂とする死者・行方不明者を始めとする被害の甚大さ、加えて人災としか考えられない原発事故が先行きの見通しの立たない不安を倍加させています。一日でも早い事態の好転を期待し、異業種交流を通じた被災地支援や、日本活性化への道を探っていきたいと思えます。

神奈川県異業種グループ連絡会議スタッフ一同

\*\*\*\*\*

**身につまされる廃業**

芝 忠

東北関東大震災で、残念ながら事業の廃業に追い込まれる方々が多数出ると思いますが、下記の文章は地震前に書いたものです。長引く消費不況とリーマンショックによる不況、さらに今回の大地震が、町場の小売店・零細事業者に深刻な打撃を与えると思われまます。我々も心して今後の取り組みを考えねばなりません。

桜木町駅前にあるピオシティ地下飲食街の「きしめん専門店・八事」が1月に閉店した。44年間営業したという。野毛ニュースのコラム欄にも紹介したほど、おいしい店だった。**売上が落ち込んで、家賃が払えなくなった**からだ、ビルオーナーがいくら頼んでもまけてくれなかったという。地方競馬や競輪の車券の売り場から固定的に収入が入るからだという。家賃に加えて**経営者の高齢化**もある。ママが80代半ばを過ぎ頑張りがかかない。息子さん一人ではやれないし、従業員を雇ってはなりたない。代わりに入ってくれる店を探したけど見つからなかった。厨房機器も全部処分した。今回、同じフロアの店が同時にいくつか撤退し、地下飲食街は本当にまばらになってしまった。

筆者の通勤路線であるJR新杉田駅改札前のアルカードの本屋さんも2月末で**撤退**、駅ビルのオーナーであるJR東日本が強気だったという。22年間営業したが、**昨今の活字離れが拍車**をかけた。通り一本隔てて大きな書店が進出していたが、扱うものや並べ方も違うので、小さくても自分では便利に利用していたが。

筆者の住んでいる金沢区並木団地でも、ラーメン屋さんが12月に**閉めた**。息子さん2人が高校から大学まで野球で頑張っていた。1人は筆者が教える関東学院大学生だった。異グ連のある関内でも、行きつけのうどん屋さんがふうふう言っている。**売上が近年激減**して、もうやっていけないという悲鳴だ。

こうした小売店の苦境は、根本的には一般消費者、すなわち我々のような庶民階層の大幅な所得減による消費ストップの傾向にある。この10年間で、平均年収が60万円も減収という。菅内閣は法人税を5%下げると予定だが、中小企業にはいいでしょうが、大企業は金余りで、使い道がなく、国内に投資先がなく、減税しても雇用者を増やせないと言っている。なのに減税して、庶民はその穴埋めに消費税を負担するわけだから、消費はますます先細りとなる。GDPが中国に追い越されたと騒ぐ前に、日本のGDPの6割を占める個人消費の増加策が肝要でしょう。

朝のNHKの番組で紹介される**生活支援の各種便利グッズ商品の数々**には驚かされる。毎日の料理から、掃除、文具、雨具、スポーツなどなど実に多種類の用品が開発されている。さしづめ**「内需振興」の商品群**といえる。昨年の夏の暑さに対して、小中学校のクーラー未設置のため病人が続出というニュースも日本の貧困さを感じる。こうした身近な内需でどの程度の景気回復になるのか、わからないが、優先度合いが庶民の幸せとかけ離れたところで、政治や予算が決まっているような気がする。了

<編集室>本当に身につまされるお話ですね。

少子化による人口減少、高齢化による消費の縮小、生産年齢人口の減少と波、等々に加えて大震災、原発事故によるエネルギー不足と、従来からの成長のみを求める景気刺激施策からの転換も必要となりそうです。

大変重要で国を左右するテーマです。ぜひ読者の皆さまからの投稿・ご意見を期待します。

## &lt;時事解説&gt;

**震災地で活躍する無人飛行システム**

千田 JASPA 取締役

東日本大震災に際して、無人飛行機が活躍していることが大きな話題となっている。

日本政府が明らかにしたところによれば、米軍は3月17日にグアムのアンダーセン基地から発進させた**無人偵察機グローバルフォーク**により撮影した原子炉内部などの写真など提供したと言う。同時に軍事衛星からの写真も提供したが、これは加工されて報道発表された。グローバルフォークは成層圏を飛行し、500km先の目標を補足し追尾できるほか、合成開口レーダ、赤外線センサ等を持ち、30cmの分解能の画像を撮れる小型旅客機ほどの大きさの偵察専門の無人ジェット機である。軍事衛星を経由して地上とデータ伝送で結ばれており、オンラインで機上からの情報を地上に送れるほか、地上からの操縦も可能である。中東戦争にも使われた。NATO軍と、ドイツ軍は導入しており、日本の自衛隊も導入を検討していると言う。

一方3月24日、25日には東京電力の依頼で、新潟県の測量会社エアフォート社が**ラジコン操縦の無人機**(主翼長3m)に2台のカメラを搭載し、150枚の写真撮影したが、その一部も報道発表されTVなどで紹介された。今回の大震災を契機に無人飛行機の役割が知られるようになったが、実は**日本はラジコンヘリに関しては世界一の利用国**であり、約1600機が農薬散布や送電線の点検などに使われている。米国では専ら軍用として高度な発展を遂げた無人飛行機であるが、2004年のNASAの民間利用に関する報告書が契機となり、欧米で盛んに民間用の用途研究や開発が進められる様になった。その主たる用途は**地上観測、非常対策、救難**などであり、有人機や人工衛星の対象とする市場の一部を経済的に代替する手段として期待され、無人飛行機ではなく**無人飛行システム**と言う名称が使われ、国際展示会やシンポジウムが盛んである。ちなみに、本年6月にはパリのエアショウが開催されるがそれに先立って国際無人飛行システムのカンファレンスおよび展示会が、同じくパリで開催される。

**産学官交流サロンのコーナー****おなじみ尾上町サロン (ぶらり参加大歓迎!!)**

**日時：原則第一・三金曜日 (05月06日、20日、6月03日) 17:15~19:30**

**場所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所** 参加費：1000円 (現物も大歓迎)

**話題：自由に持ちより (テーマの事前予約OK)** 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

**「神奈川新産学官交流サロン」 西湘サロンのご案内**

西湘サロン開始5周年を記念 (開催30回記念) して、3弾シリーズを開催中です。

第1弾：**「伝統を守り続けて創業135年 “老舗呉服店経営を語る”** 山田呉服店代表取締役山田彰夫氏 **済**

第2弾：**「幕末から明治維新にかけての湯本村の発展と福住家について」**

箱根の老舗旅館 “萬翠楼福住” 楼主 福住治彦氏 **済**

**第3弾：第32回西湘サロン開催案内**

\***日時：平成23年5月09日 (月) 18:00~20:00 (開場17:30)**

\***場所：小田原市第三区公民館 (小田原市栄町1-16-41) 神仏具ストウ商店と揚げたてっこの間です。**

\***話題提供：ガラス作家・ipada 代表 濱館 寛氏**

\***会費：1,000円 (ビールと簡単なおつまみ付)**

\***申込：異グ連事務局 島津、吉池、芝 045-633-5142**

**第41回横浜サロン開催案内**

**日時：H23年4月20日 (水) 18:00~20:30**

**場所：神奈川県中小企業センター 5階会議室**

**テーマ：「そうだったのか、デザイン！」  
~その誕生と歴史、そして現在~**

佐々木デザインスタジオ KDF 理事 佐々木 勝氏

会費：1,000円 (ビールと簡単なおつまみ付)

申込：異グ連事務局 杉本、織方、芝 045-633-5142

**第34回かわさき経済人サロン開催案内**

**日時：H23年04月21日 (木) 18:00~20:30**

**場所：川崎市産業振興会館 10階 第一会議室**

**テーマ：「先端技術に携わる技術者教育への提言」  
アイコンテクノ株式会社**

代表取締役会長 金子和夫氏

会費：1,000円 (ビールと簡単なおつまみ付)

申込：異グ連事務局 松井、芝 045-633-5142

### 第44回三浦半島経済人サロンの開催案内

日 時: H23年05月24日(火) 18:00~20:30 (開場17:30)

場 所: 神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9 京急横須賀中央駅10分

テーマ: 「積極的な広報活動のノウハウと効用」 神奈川ボランティア広場 代表 平野 和夫氏

会 費: 1,000円 (ビールと簡単なおつまみ付)

申込み: 異グ連事務局 045-633-5142 八幡敬和 防衛大学校名誉教授 鶴野省三 046-836-6785

### かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

#### シフト21 <http://www.shift21.jp/>

有村知里

4月定例会は4月12日に「起業にとって必要な時代認識と経営戦略」をテーマに株式会社日本レーザー代表取締役社長 近藤宣之様にお話いただきました。勤務先関連会社を債務超過から見事に再建させ、その後MEBOによって独立し、その後も一貫して成長させている近藤様から、体験に基づいた基本的な心構えと行動指針をお話いただきました。今回は初めてのランチミーティングでしたが、30人近い方にご参加いただき盛会のうちに終了いたしました。 MEBO: Management and Employee Buyout

5月定例会は5月10日(火) 18時30分~「Face bookのここが知りたい! に答えます~ソーシャルメディアのセミナー実践編」 Natura Lingua 代表 湯沼潤様にお話いただきます。

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。ゲスト参加大歓迎。お問合せは有村まで。

([arimura-c@nifty.com](mailto:arimura-c@nifty.com))

#### 第116回日韓ビジネス協議会(総会)開催案内 高橋導徳

3月23日に第116回日韓ビジネス協議会例会を予定しておりましたが、東日本大震災による計画停電・交通事情などを鑑み中止いたしました。

日 時: 2011年04月27日(水) 例会16:00~17:15

懇親会17:15~18:15

場 所: 例会は神奈川中小企業センタービル 5階会議室

総会議事: 2010年度活動報告・会計報告、2011年度活動計画 他

特別講演: 「13歳でベトナム難民として来日して」

合同会社 森羅万象 トレーディングマネージャー 宇円盤 幸氏

申込先: T/F045-311-0094 高橋迄 [mtakahas@tb3.so-net.ne.jp](mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp)

#### まんてん 千田泰弘

●3月1日JASPAはカナダケベック州の新聞社の取材を受けた。昨年締結したカナダのCRIAQとの国際協力協定に絡んで、まんてんプロジェクトの活動、JASPAの活動を紹介した。

●JASPAが昨年神奈川県から受託した航空宇宙産業への参入促進に関する調査が終了した。

寄稿

### 先人の教え

C&S グループ 村上嘉男

#### 「高き住居は児孫(じそん)の和楽 想え惨禍の大津波 此处より下に家をたてるな」

前述の言葉は、3月30日の読売新聞の記事である。東日本大地震で沿岸部が津波にのみこまれた岩手県宮古市にある重茂半島東端の姉吉地区(12世帯40人)では全ての家屋が被害を免れた。1933年(昭和8年)の大津波の後、海拔60mの場所に建てられた石碑の言葉である。この石碑の警告を守り、坂の上で暮らしてきた住民たちは、改めて先人の教えに感謝している、

この地区は1896年(明治29年)と1933年(昭和8年)と2度の三陸大津波に襲われ、生存者はそれぞれ2人と4人という壊滅的な被害を受けた。昭和津波の直後、住民らは石碑を建立。その後はすべての住民が石碑より高いところに暮らすようになった。地震の起きた11日、港にいた住民たちは大津波警報が発せられると、高台にある家を目指して曲がりくねった約800mの坂道を駆け上がった。巨大な波が濁流となり漁船もろとも押し寄せてきたが、その勢いは石碑の50m手前で止まった。

筆者が詳細な地形を調べるために検索し、1/25000の地図で見ると石碑の50m前には50mの等高線があり、津波は50mの高さにまで達していることが判る。

当日の宮古市田老地区では津波の高さは38mに達したと報じられているが、津波はこの道のように谷あい急に狭まった地形では、かなり高くなっていったようである。

地図で見ると家屋は石碑の上の道路沿いに12戸が点々と立っているのがわかる。しかし住民の被害としては、若いお母さんが幼稚園と小学生の子供3人を車で迎えに行き行方不明になっている。痛ましいことである。

三陸海岸ではこのような石碑が約200基ぐらい建っているそうであるが、果たしてどの程度先人の教えが守られたか。災害は30年経つと忘れられるようである。

「津波てんでんこ」この言葉は津波の時は親子であっても構うな、一人一人がてんでんばらばらになっても、早く高台に行けそして一家全滅、共倒れになるのを防げという、三陸の教えである。

最近有名になったユーチューブの動画で津波を検索すると、三陸各地の津波の押し寄せる状況が投稿されているがその中の一つに、避難状況を高台から写しているのがあった。下から津波が押し寄せる坂道を、多くの人達が駆け上ってくるのが見え、最後尾のほうに年寄か病人を二人の人が抱えて上ってくるのが見えたが、とうとう最後に波が追いつき、のみこまれてしまったのが映し出されていた。

親子でも構うなと言われても肉親や親しい知人の場合、ほうっておくわけにいかないのが人情で、このような地域では津波を考えると高台に住むよりしかたがないようである。

今後復旧するにしても学校、病院、老人ホーム等は極力高台に建てたいものである。 了

**INS東日本大震災支援募金**のお願い

INS会長 中村儀郎

INSでは被災地の方々を支援するための一つとして「募金」も実施することとなりました。皆様のご協力を切にお願いいたします。

口座：**岩手銀行高松支店 普 2042469**

**INS 東日本大震災支援募金**

問合せ：INS事務局 019-621-6491 今井 潤  
 神奈川県異グ連は理事会・事務局の有志で募金に応募いたしました。

\*INS：岩手ネットワークシステム

岩手大学が中心となった地域産学官ネットワークグループで全国異業種グループ活動にも参画されている。

セミナー・イベント等のお知らせ

<p><b>異グ連相談部 「戦略経営相談会」を開始 (初回無料)</b>                  従来からの相談業務を組織化しました。                  場所：神奈川中小企業センタービル5F                  異業種交流センターで10:00～17:00受付                  対象：異グ連会員以外も広く受け入れます。                  相談予約可能：相談テーマ、希望日時を事前に申し出ていただければ、専門家を手配いたします。                  電話 045-633-5142、FAX045-633-5194 荒、織方</p>	<p><b>予告 「神奈川異グ連 総会」</b> 詳細次号  <b>日時：H23年06月29日 (水) 午後</b>                  場所：神奈川中小企業センター 6F大研修室                  議題：1、H22年度活動・会計報告                  2、H23年度活動・予算計画                  3、その他(新体制ほか)                  時流に即した基調講演も計画しています。                  問合せ：神奈川異グ連事務局 045-633-5142</p>
<p><b>「特許情報活用セミナー」のご案内 (無料)</b>                  インターネットを利用して特許情報を活用する方法。                  1、「初心者向け」 6/10 (木) 13:30～15:30                  2、「中上級者向け」 7/01 (木) 13:30～15:30                  3、「エキスパート検索」 8/05 (木) 13:30～15:30                  4、「外国特許検索」 9/16 (木) 13:30～15:30                  場所：神奈川県産業技術センター2F講義室1.2                  申込：同センター企画調整室 046-236-1500、F046-236-1528</p>	<p><b>「現場のムダとり実践講座」のご案内</b>                  1、「モラル訓練」 5/17, 18 PEC 産業教育センター                  2、「工場実習」 神奈川県内の工場で4回行います(6/16、7/12、8/24、9/15)                  3、「成果発表会」 10月 神奈川産業振興センター                  4、「自社カイゼン」 受講生の現場に講師が訪問。                  受講料：150,000円/一人                  問合せ申込：神奈川産業振興センター 045-633-5062 藤田</p>

事務局のコーナー

**神奈川県異業種グループ連絡会議** 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

<b>【月】</b> 荒 直孝 ③田中弘一	<b>【火】</b> 八幡 敬和 児玉 英二	<b>【水】</b> 杉本 明子 (芝 忠)
<b>【木】</b> 松井 利夫	<b>【金】</b> ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男	<b>【土、日、祭日】</b> は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局  
 T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail [t-onogawa@pro.odn.ne.jp](mailto:t-onogawa@pro.odn.ne.jp) 小野川へお送りください。  
 神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!